

# 環境と建設の総合サービス企業として 地域に根つき、街を支える



代表取締役  
北口隆広氏

## 北口建設工業株式会社

同社のように一般廃棄物・産業廃棄物の収集・運搬・処分と、建設・土木の能力を併せ持つ会社はあまりない。社会基盤の新陳代謝を、総合的に担える強みを生かして、地域の暮らしをしっかりと支えている。

創業は昭和38年（1963）。土木工事会社としてスタートした。

「当時は自治体が、宅地、道路、下水道、学校などインフラ整備を盛んに進めていた時期で、当社はそうした公共工事の受注で実績を伸ばしました」（北口隆広社長）

会社を興したのは現社長の父の北口隆春氏。以来今日まで、大阪府寝屋川市に本社を置き、業容を広げて、堅実な成長を続けている。「じつは父は最初、電気工事会社に勤めていました。ところが高压電線の敷設作業中、不幸にも事故に遭い、片腕を失ったのです。それが起業につながりました」片腕を失っても健常者に負けず仕事をこなし、人一倍の努力を重ねたのだが、当時は今ほど障がい者に対する理解が進んでおらず、

会社で仕事をするこゝと自体が難しくなった。自分で何か商売を始められないか……。すると、不動産業をしていたある人が手を差し伸べてくれた。不動産売買の仕事を始めることができ、そこから宅地造成へと事業を広げ、やがて北口建設工業（株）の設立に至ったのである。

### 「地域貢献」を企業理念に、 誰もが気持ちよく暮らせる 街づくりに努力する

設立にあたり、隆春氏は企業理念を「地域貢献」とした。障がい者としてつらい思いをする一方で、周囲の多くの人に助けてもらったからだ。地域で得た利益は、地域に還元してご恩返しする——その決意表明だった。同社はやがて、ゴミ収集など自

自治体の委託を受けた環境事業へと業容を広げていった。

環境事業でゴミ収集と併せて主な仕事となったのが、

し尿処理だった。当時のトイレはまだくみ取り式が多く、同社はし尿処理のためのバキューム車を多数用意して、地元の寝屋川市、さらには近隣の交野市などの委託を受け、事業の地域を広げていった。ビルや住宅等の建設受注も増え、経営は軌道に乗った。すると隆春氏は、地域貢献の理想をさらに追求すべく、市議員・府会議



同社が施工した社会福祉施設

員として政治活動を行った。以後、障がい者として苦勞してきた経験をもとに、誰もが気持ちよく暮らせる街づくりにさらなる情熱を傾け、個人としても私財を投じて、知的障がいを持つ人々のための施設を開くなど、街の発展に尽くした。そして北口建設工業の経営は、後継者に託したのである。

## 時代を見極め、 環境事業を伸ばして 新たな成長を図る

後継の経営者も、地域貢献の理念をさらに実のあるものにすべく、ビジネスの質を磨き時代にフィットさせていく。次期社長の柳澤直氏は、建設土木と環境の両分野の各種資格取得者を増やし、筋肉質の組織にした。また廃棄物収集運搬の車両をすべて、緑ナンバーにした。廃棄物の収集運搬は運送業ではないため、業界の車両は白ナンバーが多かったが、同社は企業としての責任や管理態勢を明確にすべく、緑ナンバーにしたのだ。さらに、現場担当者でなくとも大型車の免許を取得するようにし、業務への対応力を高

めていった。

「創業者のようなカリスマ的存在がなくなるとも機能し発展する。そういう組織にしていき



業務用車両はすべて緑ナンバー

ました」平成17年(2005)に就任した小林三郎社長(現・会長)は、建設土木部門を少数精鋭でスリム化し、事業の重心を環境分野へと移した。両部門の売り上げは当時ほぼ5対5。ウエートが大きかった公共事業が減少しつつあり、環境事業を伸ばすことで新たな成長を図った。

## 街の再開発から 日常のゴミ処理まで 総合的に支え貢献する

今や社会にとって環境問題の重要性は増す一方だが、自治体は財政難で取り組みの合理化を迫られている。例えば商業施設などから出るゴミ類を事業系一般廃棄物と呼ぶが、この収集・運搬

を、委託制から許可制へ移行する自治体が増えている

同社の地元である寝屋川市でも、数年前に一般廃棄物の収集・運搬が許可制に変わった。そうになると、市場は自由競争になる。

平成26年に就任した現社長は、「サービス業」を表に出すため、作業服を社員の選んだ明るいイメージのユニフォームに一新した。理由は二つ。第1に「当社は単なる廃棄物処理業・建設業ではなく、それ以前にお客さまに快適な暮らしを提供するサービス業である」と社員の意識を変えること。第2に「そうした、同業他社との取り組み方の違いを、視覚的にアピールするためだった。建設業と産業廃棄物処理業を行



作業服からブルーのユニフォームへ一新

う会社は多いし、産業廃棄物処理業と一般廃棄物処理業を兼ねる会社も多い。しかし、これら三つすべての能力

を持つ会社はあまりないという。同社はこの三つの能力を有し、産業廃棄物の中間処理までできる。

「街の再開発から日常のゴミ処理まで、総合的に支えられるのが当社の強みです。この能力をさらに磨き、より一層、地域貢献できる企業になりたいと思います」

同社のゴミ収集車は「こども110番」のステッカーを付けている。「街を1日中巡回する車だから、子どもを守る役割も担う」との考えだ。ちなみに地域交通安全の「チャレンジコンテスト」では、27年度に金賞を獲得するなど、安全運転に全力で取り組んでいる。

真に地域に溶け込んだ企業として、同社は今後一層、貢献を果たしていくことだろう。

### 会社概要

- 社長 北口隆広氏
- 創業 昭和29年(1954)12月
- 設立 昭和38年(1963)4月
- 資本金 50百万円
- 従業員数 65名
- 事業内容 環境事業および総合建設業
- 所在地 〒572-0812 大阪府寝屋川市新家1-8-7  
TEL 072-823-0823  
FAX 072-823-1385  
URL <http://www.kitaguchi-k.co.jp>
- 取引店 リそな銀行枚方支店